

第75回カンヌ国際映画祭
コンペティション部門出品

CHAIKOVSKY'S

旋律から戦慄へ

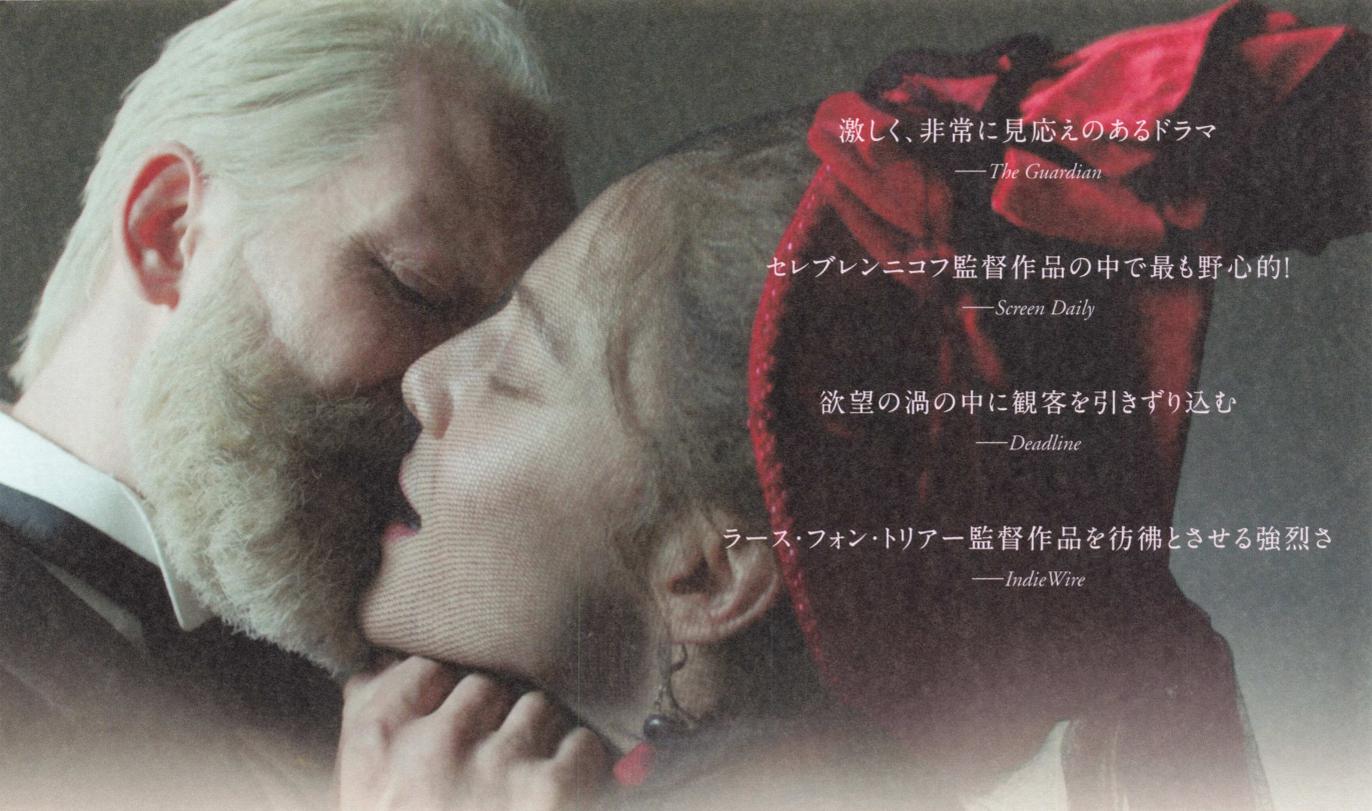


チャイコフスキーの妻

ロシアの天才作曲家を盲目的に愛した“世紀の悪妻”アントニーナ。愛と欲望の狂騒曲が今はじまる――

監督・脚本：キリル・セブレブニコフ（『LETO-レト』『インフル病みのペトロフ家』） 出演：アリョーナ・ミハイロワ、オーティン・ランド・ピロン、フィリップ・アヴデエフ、ユリア・アウグ
2022年 | ロシア、フランス、スイス | ロシア語、フランス語 | 143分 | カラー | 2.39:1 | 5.1ch | 原題：Tchaikovsky's Wife | 字幕：加藤富美 配給：ミモザフィルムズ
©HYPE FILM - KINOPRIME - LOGICAL PICTURES - CHARADES PRODUCTIONS - BORD CADRE FILMS - ARTE FRANCE CINEMA <https://mimosafilms.com/tchaikovsky/>

HYPE FILM presents a KINOPRIME FILMS / CHARADES PRODUCTIONS / LOGICAL PICTURES in association with BORD CADRE FILMS a film by KIRILL SEREBREBNIKOV starring ALYONA MIKHAYLOVA OTTILIA LAND PIROUN PHILIPPE AVDEYEV YULIA AUGUST
"TCHAIKOVSKY'S WIFE" director of photography: NIKOLAI AVDEYEV music by DANILA LISITSIN costume designer: DMITRY ANDREYEV prop master: EUGENY GRABETZ make up artist: MARINA TITUSHINA editing by PASTOR KNIPP production designer: NIKOLAI LEONOV first assistant director: MARCELA HILBAKOVICH
associate producers: DAN MESHCHERILYANNA ZIGAL ZHENYANIKOVA ROMAN PRODUCERS VERA STEFANIK SEREBREBNIKOV MURADO ISMAYILOV PAVEL BUSHA writers and directed by KIRILL SEREBREBNIKOV
produced by LEVA STEFANIK KIRILL SEREBREBNIKOV MURADO ISMAYILOV PAVEL BUSHA



激しく、非常に見応えのあるドラマ

—The Guardian

セレブレンニコフ監督作品の中で最も野心的!

—Screen Daily

欲望の渦の中に観客を引きずり込む

—Deadline

ラース・フォン・トリアー監督作品を彷彿とさせる強烈さ

—IndieWire

「あなたは永遠に私のもの—」

天才作曲家の“世紀の悪妻”アントニーナ。

心を苛むほどの狂愛を鬼才キリル・セレブレンニコフが大胆な解釈で映像化。

「白鳥の湖」「くるみ割り人形」などで知られるロシアの天才作曲家ピョートル・チャイコフスキー。かねてから同性愛者だという噂が絶えなかった彼は、恋文で熱烈求愛する地方貴族の娘アントニーナと、世間体から結婚する。しかし女性への愛情を抱いたことがないチャイコフスキーの結婚生活はすぐに破綻し、夫から拒絶されるアントニーナは、孤独な日々の中で狂気の淵へと堕ちていく…。

監督・脚本は、ベン・ウイショー主演の最新作「Limonov: The Ballad (原題)」が、第77回(2024年)カンヌ国際映画祭コンペティション部門で上映され、大きな反響を呼んだ、鬼才キリル・セレブレンニコフ。歴史の陰に埋もれたアントニーナの実像を、史実に従いながら大胆な解釈を織り交ぜて描いた。

フランスで異例の大ヒット!

タブー視されたチャイコフスキーのセクシュアリティ、帝政ロシア社会における女性の抑圧を今に伝える斬新な伝記映画。

女性の権利が著しく制限されていた19世紀後半の帝政ロシアを背景に、チャイコフスキーが同性愛者だったという、ロシアではタブー視されてきた事実を明確に描き、夫婦間の知られざる真実に迫る本作は、第75回(2022年)カンヌ国際映画祭コンペティション部門に出品され、名だたる批評家たちの賛辞を獲得。絵画的な映像美や流麗なカメラワークなど、型破りなまでに刺激的な映像世界も話題を呼び、フランスでは17万人超を動員する大ヒットを記録した。チャイコフスキーに疎まれながらも想い続ける、“世紀の悪妻”アントニーナの残酷な愛のかたちとは—。観る者の心をかき乱す、ラストの狂乱のダンスシーンもお見逃しなく!

Tchaikovsky's Wife



監督・脚本:キリル・セレブレンニコフ 出演:アリョーナ・ミハイロワ、オーディン・ランド・ピロン、フィリップ・アヴデエフ、ユリア・アウグ
2022年 | ロシア、フランス、スイス | ロシア語、フランス語 | 143分 | カラー | 2.39:1 | 5.1ch 原題:Tchaikovsky's Wife 字幕:加藤富美 配給:ミモザフィルムズ
©HYPER FILM - KINOPRIME - LOGICAL PICTURES - CHARADES PRODUCTIONS - BORD CADRE FILMS - ARTE FRANCE CINEMA <https://mimosafilms.com/tchaikovsky/>

9/6 (金)より
ロードショー

ムピチケオンライン¥1,600(税込)発売中

JR新宿駅中央東口 徒歩2分 武蔵野ビル3F

新宿 武蔵野館

03(3354)5670 shinjuku.musashino-k.jp

銀座4丁目交差点 和光ウラ通り

シネスイッチ銀座

03(3561)0707 www.cineswitch.com

吉祥寺PARCO地下2階

UPLINK 吉祥寺

0422(66)5042 joji.uplink.co.jp